

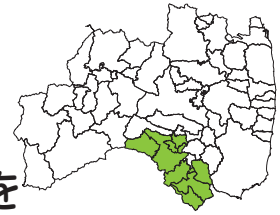
【県南コース】



豊かな自然、歴史、文化のふるさと

「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と地域の住民と素敵な交流を



【期日】 平成26年8月29日(金)～31日(日) 2泊3日



健康教室
(鮫川村富田地区)

研修の概要

○ 研修の趣旨

地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、福島県東白川郡における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

1 地域医療現場の視察

東白川地域の診療現場を視察します。

2 地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

3 地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



特養老人ホーム食事介助



地域住民との交流



吉田富三記念館見学



地域病院視察

アピールポイント

- 1 東北の最南端「みちのくの玄関口」福島県県南地域は首都圏から新幹線利用で約2時間です。
- 2 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山(ふるさと)です。
- 3 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してください。

地域医療体験研修参加者の声



私は、県南地域に行った事がなく、「このままではもったいない」との思いから県南地域を知りたくて、研修に参加しました。地域の方に実際にお話を伺うと、やはり病院まで遠いというのが悩みの種であるようでした。そのうえ、路線バスは通学と通院にしか使われないこともあり、本数が減らされて、高齢者が多いのにもかわらず、悪循環で困ったことだと思いました。それでも、病院側にそのことに対する問題意識があり、病院専用バスを運行するなどの対策が行われている点等、さすが福島県の「自分達がなんとかしないと精神」は凄いなと思いました。県南地域は県北にある福島県立医科大学附属病院まで遠いので、県北にあるような同規模の病院とは違う病院連携や医師の方々の覚悟も聞くことができました。今回、気になった病院には、今後、自分でも見学に行きたいと考えています。

今回の研修では、東白川地域の特別養護老人ホーム、地域中核病院の見学をしました。実際に地域医療について多くの問題があげられている中で、この見学は、大学の講義で学ぶことが出来ない知識として、今後に役立つものであったと実感しました。特に、実際にその地域で働いている方の話を聞くことができたのは、このような研修の機会しかないと思うので、とても有意義なものだと感じています。また、様々な問題が提示されている地域医療ですが、今までのイメージとは少々異なり、地域における医療・介護の連携が様々な職種の相互作用により、少しでもその問題を解決しよう前向きに取り組んでいる姿が印象的でした。医療資源も不足していることは現実問題としてあると思いますが、今回の研修では、良い方向へ地域医療が向かうべき一つのモデルとして見学できたように思います。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
8月29日(金)	8:30 JR福島駅西口発 9:00 福島県立医科大学発 10:30 JR新白河駅東口発 10:45~11:15 県南保健福祉事務所でのオリエンテーション 13:35~14:35 金澤医院の視察 15:00~16:00 塙厚生病院の視察 16:00~17:30 医療従事者との懇談会 18:30~20:00 医療従事者との夕食会	朝(×) 昼(○) 夜(○)	鮫川村 「ほっとはうす・さめがわ」
8月30日(土)	9:00~12:00 健康教室事前研修 13:00~15:00 鮫川村富田区での健康教室 18:00~20:00 地域住民と交流(盆踊り参加)	朝(○) 昼(○) 夜(○)	鮫川村 「ほっとはうす・さめがわ」
8月31日(日)	9:00~10:00 研究発表会 10:20~11:00 江竜田の滝を散策 13:00~14:00 吉田富三記念館の見学 15:00 JR新白河駅東口着 16:30 福島県立医科大学着 17:00 JR福島駅西口着	朝(○) 昼(○) 夜(×)	